

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-1
学校・家庭・地域の連携協力による教育の充実

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

教育庁総務課長 仁科 慎治郎

電話番号

0852-22-5407

事務事業の名称	「しまね教育の日」推進事務	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	県民一体となって本件教育の課題を解決していけるような機運を盛り上げるためにさまざまな取組を行う。
事業概要	「しまね教育の日」の趣旨にふさわしい取組として、教育フォーラム等の「しまね教育の日」関連行事を開催。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	「しまね教育の日」にちなんだ活動への参加者数（延べ数）	目標値		425,000.0	425,000.0	425,000.0	425,000.0
	式・定義	達成率＝「しまね教育の日」にちなんだ活動への参加者数（実績値）／（目標値）×100	取組目標値					人
			実績値	424,664.0	418,456.0			
			達成率	－	98.5	－	－	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	－	－	－	－	－

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	800	720
うち一般財源 (千円)	800	720

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成28年度「しまね教育の日」にちなんだ活動への参加者数：418,456人（前年度424,664人）
平成28年度「教育の日フォーラム」の参加者数：約150人（前回（H27）：約100人）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

県民に「しまね教育の日」の意識が定着してきており、県・市町村・学校・PTA・公民館活動等で実施する「しまね教育の日」にちなんだ活動への参加者数は増加している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

「しまね教育の日」の中心として開催している「教育の日フォーラム」参加者のほとんどが教育関係者であったが、テーマを「教育の魅力化」に設定し、教育関係者に加え、公民館関係者・婦人会等の社会教育関係者にも呼びかけたことで参加者が増えたが、せっかくの取組であるので、さらに幅広い者の参加を促す必要がある。

②困っている状況が発生している「原因」

例年平日開催であること、会場をサンラボーむらくも（最大収容150人程度）としていることから、一般県民が参加しづらいと考えられる。

③原因を解消するための「課題」

休日開催や多人数が参加できる施設での開催、幅広い者が興味・関心を持つテーマ設定が必要と考えられる。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

「教育の日フォーラム」に教育関係者だけでなく、より多くの方が興味を持ち、参加してもらえるよう、内容や周知方法を工夫する必要がある。加えて、開催日、開催場所についても休日開催を検討する等が必要である。